

学校目標「全児童に未来社会をしなやかに生き抜く力を育む」



高木瀬小学校 学校だより

第14号
R8.3.4発行
文責:橋口

2月の授業参観においでくださりありがとうございました

当日は、どんよりとした曇り空の下でしたが、授業参観には、多くの学校サポーターの皆様にご足をお運びいただき、本当にありがとうございました。

本校は校舎が狭く、教室の中まで十分にいただけなかった方もいらっしゃるのではないのでしょうか。「わが子の頑張る姿を、しっかりご覧いただけたらどうか」と、心配しておりました。皆様が、お子様のこの一年の歩みを少しでも感じ取っていただけていれば幸いです。

当日は、体育館で行われた4年生の「10歳のちかいの式」を見守っておりました。そのため、他の学年の様子を直接見ることはできませんでしたが、体育館には4年生の凛とした声が響き、見守る保護者の皆様の眼差しからは、お子様への深い愛情が伝わってきて、胸が熱くなりました。

今の学年も残りわずかとなりましたが、一日一日を大切に、子どもたちの笑顔がさらに輝くよう、職員一同一杯取り組んでまいります。お気づきのことがございましたら、どうぞ担任または学校までお知らせいただきますようお願いいたします。



ある4年生のおうちの方から

ステージに上がるまでは「ちゃんと言えるかな」「もじもじしないかな」とドキドキしていました。何という言葉を発表するのかも知らなかったため、親の職業を夢にあげ堂々と発表する姿に思わず涙が出そうになりました。

どの子の発表も素晴らしかったです。全員の応援団として、これからも成長を見守っていきたいと思います。

佐賀市政20周年記念事業「空飛ぶ体験あたりまえ化計画」

佐賀市が新市誕生20周年を記念して、市内全小学校において、バルーン係留体験搭乗（空飛ぶ体験あたりまえ化計画）を行っていただきました。

「佐賀ならではの体験を“あたりまえ”として積み重ねることで、子どもたちに胸を張って『ふるさと佐賀』を語ってほしい。子どもたちが、大人になっても空を見上げるたびに佐賀を思い出すようになってほしい」との佐賀市の願いによって企画されました。

ほとんどの子が初めての体験だったようで一往復の短い搭乗ではありましたが、大歓声が上がっていました。「怖い」と言って尻込みする子どもも数人いましたが、搭乗後は「また乗りたい。どこで乗れるんですか？おうちの人と行きたいです」とバルーンの虜となっていました。子ども達は佐賀市の思いをしっかりと受け取ったことと思います。（1・3・5年生は12月4日（木）、2・4・6年生は2月18日（水）の実施でした）



「学校給食献立委員会」の開催

2月24日（火）に本校で学校給食献立委員会を開催しました。これは、安全・安心で栄養バランスの取れた美味しい食事を提供することを目的とし、献立原案の検討・修正、食に関する要望やイベント食（行事食）の提案、食事改善について協議する場です。今回は令和8年度4月～9月までの給食献立について話し合いをしました。PTAからも参加していただき、ご意見や感想をたくさんいただきました。本校の学校給食は、とても美味しく残食も少ないです。栄養教諭の阿部先生は毎日、給食の様子を全学級参観し、メニューや味付けの参考にされています。来年度の給食も「期待大」です。



学校目標「全児童に未来社会をしなやかに生き抜く力を育む」

変化が見られます！主体性の発揮される学校生活へ

「自分で考え、自分で決めて、自分から行動する」を子ども達との合言葉にして、主体性の育成を進めてきた今年度。子どもたちが自ら考え、行動する「主体性」の輝きに満ちた光景が数多く見られます。

■ 6年生:自分たちの手で創り上げる「卒業プロジェクト」

最高学年である6年生は、今、総合的な学習の時間に「卒業プロジェクト」に取り組んでいます。ここには、彼らの熱い思いが凝縮されています。

「全教職員と6年生全員で、本気のかくれんぼをしたい！」

「下級生と一緒に遊び、最高の思い出を共有したい」

「卒業式の内容や進め方も、自分たちで話し合って決めたい」

「学校をきれいに卒業したい」「在校生のために靴箱に分かりやすいクラスプレートを作ろう」

「6年生の仲間たちと思いっきり遊び、思い出をしたい」

「卒業式ではおうちの方に感謝の気持ちを表したい」

6年生担任は、彼らの「やりたい」というエネルギーを尊重し、黒子となってサポートに徹しています。自分たちの学校生活を支えてくれた方々へ感謝の気持ちをもって自分たちで締めくくろうとするその姿は、実に頼もしく、最高学年としての誇りを感じます。

■ 3年生:自分たちで企画・練習した「6年生を送る会」の出し物

先日の「6年生を送る会」では、3年生の成長に驚かされました。「自分たちで出し物を決め、準備も進行も自分たちの手で行いたい」と、有志による実行委員会が立ち上がりました。本番では、ニュース仕立てで6年生の活躍の場面を劇にして披露しました。誰かに言われて動くのではなく、自分たちで創り上げたからこそその「生き生きとした表情」と「満足感に満ちた笑顔」が印象的でした。

■ 5年生:人権週間の取組み「ピンクシャツデー」他

今年度の人権集会は「自分たちで行う人権集会」と位置づけ、人権侵害を自分の問題として真剣に考え、自分たちで解決する力を身に付けさせる目的で5年生を中心に開催しました。

「ピンクシャツデー」について、その起源や目的などを分かりやすく劇にして人権集会で披露しました。ポスターやチラシも作り、取組みの日時や方法についてお知らせをすると共に、当日には校門で呼びかけやピンク色の手作りグッズの配布を行いました。例年よりもさらに熱を帯びたピンクシャツデーとなりました。他にも、意識を高める人権の歌を替え歌で作るなどそれぞれが能動的に活動を行いました。

人権集会を含む人権週間を通して、5年生がぐんと成長していることを感じました。

■ 運動委員会:来年度の運動会に向けて

運動委員会では令和8年度の運動会を「だれもが楽しめる運動会にしよう」とのコンセプトを設け、運動会の大改革を進めています。教職員の支援を受けながら、「次の運動会は自分たちの運動会だ」との気持ちをもって話し合い活動をしている姿がとて頼もしいです。

【子ども本来の輝きを信じて】

大人が決めた枠組みの中だけでなく、子どもたちが自らの意志で動き出したとき、そこには本来の「輝き」が宿ります。こうした主体的な活動を通じて、自信を深めていく子どもたちの姿を見守れることは、私たち教職員にとっても大きな喜びです。

全ての子どもたちが自分らしく輝けるよう、これからも子ども達の「やってみたい」「学校・学級をより良く変えたい」等の気持ちを大事にしていきたいと思えます。

※ここに挙げた以外にもそれぞれの子どもの小さな変化を感じる事がたくさんあります。紙面の都合上、全ての学年・委員会の取組みや変化を挙げる事ができないことがとても残念です。

感染症流行の状況

3月3日(火)現在、病気による欠席者は19名(インフルエンザ確定5名、水疱瘡2名、その他風邪症状12名)です。いったんは流行期を乗り越えたようですが、寒暖差が激しいことから再流行の恐れがあります。学校では、常時換気と休み時間の空気の入替えに努め、手洗いをしっかりとるように指導しています。

